

14時30分解禁

平成20年3月 全国百貨店売上高概況

平成20年4月18日

I. 概 況

1. 売上高総額	6,596億円余
2. 前年同月比	-1.2% (店舗数調整後/2か月ぶりマイナス)
3. 調査対象百貨店	93社 281店 (平成20年2月対比+2店舗)
4. 総店舗面積	6,791,515㎡ (前年同月比: 0.5%)
5. 総従業員数	101,657人 (前年同月比: 11.8%)
6. 3か月移動平均値	8-10月 -1.0%、9-11月 -0.9%、10-12月 -1.1%、 11-1月 -1.3%、12-2月 -1.5%、1-3月 -1.0%

[参考] 平成19年3月の売上高増減率は-1.5% (店舗数調整後)

【3月売上の特徴】

2か月ぶりに前年同月比マイナスとなった。

今年3月は中旬以降の気温上昇に伴って主力の春物衣料に動きが見られたものの、上旬の春物展開最盛期における天候不順が響いて通期では振るわなかった。

暦の関係で日曜日が1日増加したこと、今年好調だったバレンタインデーと連動してホワイトデーのギフト需要に盛り上がりが見られたこと、物産展等の催事が比較的好調に推移したことなどのプラス要因もあったが、衣料品の不調に加えて、先行き不透明な景況感による消費マインドへの影響から、特に宝飾・貴金属等の高額品が引き続き大幅減となったこともあり、最終的には前年売上を割り込む結果となった。

なお、平成19年会計年度(H.19.4~H.20.3)の年間売上については、全国ベースの合計が前年度対比-0.8%で2年連続マイナス、東京地区については、前年度対比0.3%と平成13年度(0.1%)以来6年ぶりにプラスとなった。

【要 因】

- (1) 天 候 : 気象庁発表「3月の天候」の特徴は以下のとおり (一部抜粋)
 - ◇ 日本付近は、冬型の気圧配置となる日はほとんどなく、移動性高気圧に覆われて晴れる日が多かった。また、低気圧の通過時に南から暖かい気流が流れ込み、北・東日本では1946年以降3月として第2位の高温を記録した。
- (2) 営業日数増減 30.7日 (前年同月比-0.1日)
- (3) 土・日・祝日の合計 11日 (" +1日・日曜日)
- (4) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
 - ①増加した: 30店、②変化なし: 59店、③減少した: 62店、④不明: 41店
- (5) 3月歳時記 (ひな祭り、彼岸、卒業・入学、新社会人) の売上 (同上)
 - ①増加した: 22店、②変化なし: 82店、③減少した: 7店、④不明: 81店
- (6) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)
 - ①増加する: 27店、②変化なし: 94店、③減少する: 18店、④不明: 53店

全国百貨店 売上高速報 2008年03月

第1表 地区別売上高

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	※店舗数調整後 ()が調整前 対前年増減(-)率 (%)
			※
全 国	659,665,228	100.0	-1.2 (-1.2)
10都市	418,500,584	63.4	-1.3 (-1.8)
札幌	17,882,860	2.7	-2.6
仙台	8,973,848	1.4	1.6
東京	161,380,455	24.5	-0.7
横浜	36,029,361	5.5	-1.0
名古屋	39,043,065	5.9	-5.8
京都	25,351,235	3.8	-1.4
大阪	81,593,850	12.4	-0.5
神戸	17,892,871	2.7	0.8
広島	13,712,113	2.1	-2.5
福岡	16,640,926	2.5	-1.2 (-13.4)
10都市以外の地区	241,164,644	36.6	-1.1 (0.1)
北海道	5,144,662	0.8	-3.5 (-12.7)
東北	14,830,874	2.2	0.8
関東	116,577,212	17.7	-1.5 (1.3)
中部	18,307,930	2.8	0.6
近畿	21,369,766	3.2	2.5
中国	15,987,912	2.4	-0.2
四国	13,109,961	2.0	-1.0
九州	35,836,327	5.4	-3.2

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%)
			※
総 額	659,665,228	100.0	-1.2 (-1.2)
紳士服・洋品	45,934,186	7.0	1.1 (1.2)
婦人服・洋品	170,110,328	25.8	-2.3 (-2.5)
子供服・洋品	27,000,590	4.1	0.8 (1.2)
その他衣料品	18,775,100	2.8	-2.9 (-2.9)
衣 料 品	261,820,204	39.7	-1.5 (-1.5)
身のまわり品	87,157,862	13.2	-2.4 (-2.8)
化粧品	33,598,522	5.1	4.2 (4.5)
美術・宝飾・貴金属	30,659,155	4.6	-8.3 (-8.2)
その他雑貨	31,382,850	4.8	-3.3 (-3.2)
雑 貨	95,640,527	14.5	-2.5 (-2.4)
家 具	11,232,064	1.7	-8.5 (-8.8)
家 電	2,216,051	0.3	-5.3 (-5.3)
その他家庭用品	21,056,838	3.2	-2.5 (-2.4)
家 庭 用 品	34,504,953	5.2	-4.7 (-4.8)
生 鮮 食 品	30,858,278	4.7	2.5 (3.2)
菓 子	44,681,657	6.8	4.3 (4.5)
惣 菜	32,333,001	4.9	-0.3 (0.0)
その他食料品	39,030,911	5.9	0.3 (0.9)
食 料 品	146,903,847	22.3	1.8 (2.2)
食 堂 喫 茶	17,970,792	2.7	2.8 (3.7)
サ ー ビ ス	6,538,896	1.0	-3.0 (-2.2)
そ の 他	9,128,147	1.4	-7.5 (-8.9)
商 品 券	22,844,543	3.5	-5.8 (-5.7)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。○本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | -1.3% (店舗数調整後/2か月ぶりマイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -1.1% (// /9か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-1.3	-0.8	2か月ぶりマイナス
札幌	-2.6	-0.1	7か月連続マイナス
仙台	1.6	0.0	4か月連続プラス
東京	-0.7	-0.2	2か月ぶりマイナス
横浜	-1.0	-0.1	3か月ぶりマイナス
名古屋	-5.8	-0.4	4か月連続マイナス
京都	-1.4	-0.1	2か月ぶりマイナス
大阪	-0.5	-0.1	2か月ぶりマイナス
神戸	0.8	0.0	4か月ぶりプラス
広島	-2.5	-0.1	2か月ぶりマイナス
福岡	-1.2	0.0	2か月ぶりマイナス
10都市以外の地区	-1.1	-0.4	9か月連続マイナス
北海道	-3.5	0.0	5か月連続マイナス*
東北	0.8	0.0	仙台的10都市への移行により 2007年1月以降初のプラス*
関東	-1.5	-0.3	9か月連続マイナス
中部	0.6	0.0	4か月ぶりプラス
近畿	2.5	0.1	2か月連続プラス
中国	-0.2	0.0	9か月連続マイナス*
四国	-1.0	0.0	9か月連続マイナス
九州	-3.2	-0.2	7か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行したため(2005年までは6大都市)、連続性の観点から2007年1月からのトレンドとした。

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、プラスは食料品。マイナスは衣料品、身のまわり品、雑貨、家庭用品。化粧品・菓子は前年比較を開始して以来15か月連続プラス、生鮮食品が11か月連続プラスとなった。また、紳士服洋品、子供服洋品、その他食料品がプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-1.2	—	2か月ぶりマイナス
紳士服・洋品	1.1	0.1	2か月連続プラス
婦人服・洋品	-2.3	-0.6	9か月連続マイナス
子供服・洋品	0.8	0.0	9か月ぶりプラス
その他衣料品	-2.9	-0.1	2か月ぶりマイナス
衣料品	-1.5	-0.6	9か月連続マイナス
身のまわり品	-2.4	-0.3	7か月連続マイナス
化粧品	4.2	0.2	15か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-8.3	-0.4	13か月連続マイナス*
その他雑貨	-3.3	-0.2	4か月連続マイナス*
雑貨	-2.5	-0.4	2か月ぶりマイナス
家具	-8.5	-0.2	4か月連続マイナス
家電	-5.3	0.0	3か月連続マイナス
その他家庭用品	-2.5	-0.1	2か月ぶりマイナス
家庭用品	-4.7	-0.3	4か月連続マイナス
生鮮食品	2.5	0.1	11か月連続プラス*
菓子	4.3	0.3	15か月連続プラス*
惣菜	-0.3	0.0	2か月ぶりマイナス*
その他食料品	0.3	0.0	2か月連続プラス*
食料品	1.8	0.4	3か月連続プラス
食堂喫茶	2.8	0.1	2か月連続プラス
サービス	-3.0	0.0	25か月ぶりマイナス
その他	-7.5	-0.1	6か月連続マイナス
商品券	-5.8	-0.2	9か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

平成20年3月 東京地区百貨店売上高概況

平成20年4月18日

I. 概 況

1. 売上高総額	1,613億円余
2. 前年同月比	-0.7% (2か月ぶりマイナス)
3. 店頭・非店頭 の増減	店頭0.5% (87.4%) : 非店頭-8.3% (12.6%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 28店 (平成20年2月対比±0社0店)
5. 総店舗面積	966,990㎡ (前年同月比: 0.6%)
6. 総従業員数	19,022人 (前年同月比: 3.1%)
7. 3か月移動平均値	8-10月 0.8%、9-11月 0.2%、10-12月 0.1%、 11-1月 -0.6%、12-2月 -0.5%、1-3月 -0.1%

[参考] 平成19年3月の売上高増減率は-2.2%

【3月売上の特徴】

- (1) 春物衣料は全般的に低調であったが、婦人服ではジャケットやブラウスに動きが出始めるなど、従来のワンピース一辺倒のトレンドに変化の兆しが見えてきた。
- (2) ホワイトデー商戦はバレンタインと同等以上に活況であった。押し上げ要素としては、品揃えの拡充などからギフトだけでなく女性の自家需要が伸びたことなどもある。
- (3) 輸入食材の問題から食の安心・安全に対する意識が高まっているが、これを背景として国内ブランド食材が主力の生鮮食品売上が大幅増(+7.2%)となった。
- (4) 好調が続く化粧品は、都内各店で春のコスメフェアが実施されたことや、早くもスキンケア・UV対策商品が動き始めたことなどから上昇傾向に弾みがついている。
- (5) 景気後退懸念や物価上昇傾向を背景に、店頭における顧客の購買スタイルが慎重になっており、高額品に限らず一般商材にまで価格志向の高まりが見え始めた。

【要 因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比+0.4日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
 - ①増加した: 5店、②変化なし: 6店、③減少した: 10店、④不明: 1店
- (3) 3月歳時記 (ひな祭り、彼岸、卒業・入学、新社会人) の売上 (同上)
 - ①増加した: 4店、②変化なし: 7店、③減少した: 1店、④不明: 10店
- (4) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向)
 - ①増加する: 6店、②変化なし: 14店、③減少する: 0店、④不明: 2店

東京地区百貨店 売上高速報 2008年03月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	161,380,455	100.0	-0.7
紳士服・洋品	12,739,928	7.9	3.4
婦人服・洋品	39,541,343	24.5	-2.5
子供服・洋品	5,895,574	3.7	1.8
その他衣料品	3,872,693	2.4	-6.5
衣 料 品	62,049,538	38.4	-1.2
身のまわり品	22,660,818	14.0	0.7
化粧品	8,408,991	5.2	4.6
美術・宝飾・貴金属	8,605,210	5.3	-14.8
その他雑貨	9,806,076	6.1	-2.1
雑 貨	26,820,277	16.6	-4.8
家 具	2,929,155	1.8	0.4
家 電	781,360	0.5	-10.4
その他家庭用品	5,159,606	3.2	-5.2
家 庭 用 品	8,870,121	5.5	-3.9
生 鮮 食 品	4,912,240	3.0	7.2
菓 子	10,647,524	6.6	7.3
惣 菜	7,508,146	4.7	0.4
その他食料品	9,564,961	5.9	2.3
食 料 品	32,632,871	20.2	4.1
食 堂 喫 茶	4,005,748	2.5	4.1
サ ー ビ ス	1,965,450	1.2	-4.7
そ の 他	2,375,632	1.5	-8.8

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

○本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率(%)
商 品 券	4,467,552 千円	-7.9
従 業 員 数	19,022 人	3.1
店 舗 面 積	966,990 m ²	0.6

営 業 日 数	31.0 日	前 年	30.6 日
---------	--------	-----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、身のまわり品、食料品がプラス。マイナスは衣料品、雑貨、家庭用品。特に身のまわり品は11か月連続プラスとなっている。化粧品・菓子は15か月連続プラス、生鮮食品が11か月連続プラスとなった。また、紳士服洋品、子供服洋品、家具、惣菜、その他食料品がプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-0.7	—	2月ぶりマイナス
紳士服・洋品	3.4	0.3	2か月連続プラス
婦人服・洋品	-2.5	-0.6	7か月連続マイナス
子供服・洋品	1.8	0.1	2か月連続プラス
その他衣料品	-6.5	-0.2	2か月ぶりマイナス
衣料品	-1.2	-0.5	2か月ぶりマイナス
身のまわり品	0.7	0.1	11か月連続プラス
化粧品	4.6	0.2	15か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-14.8	-0.9	5か月連続マイナス*
その他雑貨	-2.1	-0.1	3か月連続マイナス*
雑貨	-4.8	-0.8	2か月ぶりマイナス
家具	0.4	0.0	2か月連続プラス
家電	-10.4	-0.1	3か月連続マイナス
その他家庭用品	-5.2	-0.2	3か月ぶりマイナス
家庭用品	-3.9	-0.2	2か月ぶりマイナス
生鮮食品	7.2	0.2	11か月連続プラス*
菓子	7.3	0.4	15か月連続プラス*
惣菜	0.4	0.0	2か月連続プラス*
その他食料品	2.3	0.1	2か月連続プラス*
食料品	4.1	0.8	3か月連続プラス
食堂喫茶	4.1	0.1	2か月連続プラス
サービス	-4.7	-0.1	5か月ぶりマイナス
その他	-8.8	-0.1	17か月連続マイナス
商品券	-7.9	-0.2	2か月ぶりマイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

全国百貨店 売上高速報 2007年04月～2008年03月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	7,682,643,413	100.0	-0.8 (-1.0)
10都市	4,927,837,608	64.1	-0.2 (-0.9)
札幌	199,864,253	2.6	-2.6
仙台	102,714,028	1.3	0.9
東京	1,895,581,869	24.7	0.3
横浜	419,336,322	5.5	-0.2
名古屋	464,780,257	6.0	-0.6
京都	294,921,080	3.8	1.8 (-5.5)
大阪	972,766,357	12.7	-0.9
神戸	211,123,130	2.7	-0.8
広島	166,142,614	2.2	-1.1
福岡	200,607,698	2.6	-0.1 (-6.7)
10都市以外の地区	2,754,805,805	35.9	-1.7 (-1.0)
北海道	57,421,147	0.7	-3.0 (-11.2)
東北	154,259,429	2.0	-4.4
関東	1,308,050,877	17.0	-1.3 (1.2)
中部	214,885,868	2.8	-1.2 (-3.7)
近畿	247,101,484	3.2	-1.0
中国	191,087,560	2.5	-1.9
四国	150,538,959	2.0	-1.9
九州	431,460,481	5.6	-2.5

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	7,682,643,413	100.0	-0.8 (-1.0)
紳士服・洋品	574,861,439	7.5	-1.4 (-1.4)
婦人服・洋品	1,874,718,186	24.4	-2.6 (-2.9)
子供服・洋品	202,954,995	2.6	-2.6 (-2.5)
その他衣料品	224,362,079	2.9	-1.8 (-2.0)
衣 料 品	2,876,896,699	37.4	-2.3 (-2.5)
身のまわり品	992,697,362	12.9	-0.3 (-0.6)
化粧品	355,823,082	4.6	4.1 (4.2)
美術・宝飾・貴金属	381,596,340	5.0	-3.9 (-4.3)
その他雑貨	358,042,786	4.7	-1.8 (-2.9)
雑 貨	1,095,462,208	14.3	-0.7 (-1.2)
家 具	122,932,237	1.6	-2.6 (-3.2)
家 電	28,627,511	0.4	-6.9 (-7.0)
その他家庭用品	247,796,569	3.2	0.0 (-0.2)
家 庭 用 品	399,356,317	5.2	-1.3 (-1.7)
生 鮮 食 品	416,230,442	5.4	2.1 (2.3)
菓 子	477,055,907	6.2	3.9 (3.9)
惣 菜	414,939,485	5.4	0.4 (0.2)
その他食料品	616,622,790	8.0	-0.9 (-0.7)
食 料 品	1,924,848,624	25.1	1.2 (1.3)
食 堂 喫 茶	204,606,392	2.7	0.4 (0.7)
サ ー ビ ス	74,415,751	1.0	2.8 (3.3)
そ の 他	114,360,060	1.5	-0.5 (-1.3)
商 品 券	303,329,940	3.9	-3.4 (-3.5)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。○本統計には消費税は含まれておりません。

東京地区百貨店 売上高速報 2007年04月～2008年03月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	1,895,581,869	100.0	0.3
紳士服・洋品	161,759,612	8.5	1.2
婦人服・洋品	440,497,682	23.2	-2.1
子供服・洋品	36,987,839	2.0	0.6
その他衣料品	48,864,562	2.6	-0.3
衣 料 品	688,109,695	36.3	-1.1
身のまわり品	261,474,892	13.8	3.5
化粧品	89,921,859	4.7	6.2
美術・宝飾・貴金属	107,612,292	5.7	-8.3
その他雑貨	109,428,523	5.8	0.4
雑 貨	306,962,674	16.2	-1.3
家 具	34,437,156	1.8	-4.1
家 電	11,455,397	0.6	-3.7
その他家庭用品	65,963,562	3.5	1.6
家 庭 用 品	111,856,115	5.9	-0.8
生 鮮 食 品	66,457,063	3.5	5.2
菓 子	114,689,418	6.1	7.5
惣 菜	95,751,097	5.1	-0.2
その他食料品	152,635,597	8.1	0.5
食 料 品	429,533,175	22.7	2.8
食 堂 喫 茶	45,124,724	2.4	-1.7
サ ー ビ ス	22,347,406	1.2	6.1
そ の 他	30,173,188	1.6	-10.3

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

○本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率(%)
商 品 券	60,529,326 千円	-0.9
従 業 員 数	227,930 人	4.4
売 場 面 積	11,561,466 m ²	1.0

営 業 日 数	30.4 日	前 年	30.3 日
---------	--------	-----	--------

全国百貨店会計年度(4月～3月)売上高

年 度	売上高(千円)	対前年増減率(%)
2007(平成19年度)	7,682,643,413	※ -0.8(-1.0)
2006(平成18年度)	7,757,068,695	-0.9(-1.2)
2005(平成17年度)	7,850,942,202	0.7(0.4)
2004(平成16年度)	7,819,418,674	-3.2(-3.4)
2003(平成15年度)	8,095,029,432	-2.5(-2.5)
2002(平成14年度)	8,298,537,530	-2.5(-2.7)
2001(平成13年度)	8,531,326,536	-0.3(-2.4)
2000(平成12年度)	8,741,173,341	-2.2(-2.6)
1999(平成11年度)	8,977,539,708	-2.0(-1.6)
1998(平成10年度)	9,120,465,909	-3.1(-0.0)
1997(平成9年度)	9,116,916,312	-6.8(0.7)
1996(平成8年度)	9,056,683,972	2.6(4.1)

東京地区百貨店会計年度(4月～3月)売上高

年 度	売上高(千円)	対前年増減率(%)
2007(平成19年度)	1,895,581,869	※ 0.3
2006(平成18年度)	1,890,161,244	-1.1
2005(平成17年度)	1,910,885,817	-0.0
2004(平成16年度)	1,911,474,801	-3.5
2003(平成15年度)	1,981,691,045	-4.3
2002(平成14年度)	2,070,323,197	-3.4
2001(平成13年度)	2,143,285,836	0.1(-1.0)
2000(平成12年度)	2,165,523,835	-1.2(-1.7)
1999(平成11年度)	2,204,067,284	-1.5(-3.2)
1998(平成10年度)	2,277,773,415	-3.5(-3.2)
1997(平成9年度)	2,352,897,713	-7.7(-5.4)
1996(平成8年度)	2,487,762,853	1.9(4.7)

※は店舗数調整後、()は調整前

お問い合わせは、日本百貨店協会 調査担当 森・関・西田まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>